



青森中央学院大学看護学部との高大連携事業プログラムの実施

1月20日(土)青森中央学院大学で高大連携事業プログラムが開催され、2年次6名が参加しました。この連携事業は、大学側が、看護大学への進学を目指している生徒に対し、看護学部への関心を高めてもらいたいという思いで用意されたプログラムです。最初に、看護学部の教授から看護ガイダンスが行われ、



「看護師は、療養上の世話と診療の補助を業としている」と話されました。また、大学では、**患者さんの身体の状態を理解するための講義・実習科目があり、患者さんのしたいことを理解し、実際にそれを手けるための方法・実践を養成する所であることも教わりました。**次に、模擬授業「病室における環境調整技術」が行われ、病室



内の気温・採光・騒音等の適する基準値をクイズ形式で確認し、環境整備の方法、注意点を実習形式で学びました。**病室内の環境整備を行うことは、患者さんの安心・安全はもちろんのこと、闘病意欲にかかわることを学びました。**最後に、看護学部の学生と本校生徒がグループワークや施設見学を行い終了しました。



参加生徒の感想・学んだこと

今回は大学の雰囲気を感じ取りつつ、看護の知識をつけることを目標にして参加しました。グループワークを通していろんな看護についてのことを学ぶことができました。

模擬授業や関係のある職業の話を知ることができ、参加しなければ知ることのできない雰囲気を感じることができた。

病室の不適切なところを考えたりグループで理由や改善点についてしっかり話し合い、理解することができました。看護師になる上で今のうちから毎日コツコツと勉強したり、患者さんの気持ちに寄り添うために人の立場になって考えたい。

今日の授業に参加して学んだことは、看護師の仕事は療養上の世話(食事、更衣など)、診療の補助(外来診療の介助など)があり、看護師は患者さんの身体の状態、患者さんのしたいことを理解する、それを実際に手助けすることが必要だということを学びました。

今月のコラム ～頭寒足熱～



足元を温かく、頭は涼しくしておく「**頭寒足熱**」は、冬の健康法の一つとされ、風邪の対処法としてよく聞くことがあります。血流を良くし、リラックス効果や集中力アップも期待できるそうです。冬の学習環境として、「**頭寒足熱**」を意識してみませんか。そして、2月～3月は1年の総まとめ、復習に力を入れて学習しましょう！新しい問題集を買わずとも、学校で使っているワークやドリルを徹底的に復習することで、基礎学力が定着します。理解できていないところがあれば、教科の先生に聞くなどして、そのまま残さないようにしましょう！！

進路について考えよう～2・3年次に進む前に

3年次の先輩方は4月から次なる道へ進んでいきます。1・2年次の皆さんにとってははいよいよ新たなスタートです。4月になる前に、家族の方と高校卒業後の事や自分の将来について話し合いましょう。そして、これからの高校生活をどのように過ごすかを考えましょう。

気になる学校のパンフレット(デジタルパンフレット)を各学校のHPから閲覧する 【学校パンフレットでみるべきポイントの紹介】

学部・学科・コース

似たような名前の学部・学科でも、学べる内容はそれぞれの大学・短大・専門学校によって大きく異なります。比較検討しましょう。

アドミッションポリシー

アドミッションポリシーなどを読んで、その学校の教育方針、求める人物像などをよく理解しましょう。

学費について

入学金や授業料など実際にかかる費用だけでなく、その学校独自の「学費支援制度」や「特待生制度」をチェックしましょう。

その他（「施設・設備」「教員・在校生のコメント」「就職・資格」など）

施設・設備、就職などの実績やサポート制度も学校ごとに異なります。自分が求める条件に合った学校を見つけるためには、複数の学校のパンフレットを様々な角度から見比べることが大事です。

就職にそなえよう 【今年度の**合格体験記**に寄せた先輩の声を聞こう】

去年の求人票を見に行き、どのような会社があるのかを事前に調べた。

※求人票から企業を読み取ろう
[仕事の内容][就業場所][就業時間]
[基本給][休日等]について、複数の企業の求人票を比較したり、どのような基準を重視して受験するのかを決めましょう。

※会社のHP、会社案内をチェック

就職活動を通して大切に思ったこと

- ・資格を取得したり部活動を頑張ることも大切ですが、それ以前に、欠席・遅刻をしないこと。テストをおろそかにしないこと。学校生活で基礎的な事をコツコツ積み重ねる事が大事だと感じた。
- ・挨拶や自分の考えをしっかりと表現できることは今もこの先も必ず必要になってきます。
- ・2年次の「ビジネス基礎」の授業で卸売業を学ぶ機会があり、その流れに興味を持ちました。
- ・1年次の時から、たくさんの人と積極的に話すなどして、コミュニケーション能力を身につけましょう。

